

栃木県生協連・2010年度3月定例報告

2011年3月15日
栃木県連 専務 鎌柄

(1) 2月活動日誌

日付	曜日	日誌
2月1日	火	食の安全ネットワーク世話人会、県GAP推進委員会
2月2日	水	県田園風景百選シンポジウム
2月4日	金	小山(市) 評定懇談会
2月5日	土	県内職域団体住宅相談会
2月7日	月	くらし部会(TPP)拡大学習会、県協働フォーラム、県土づくりコンテスト表彰式、岐阜県生協連来協(研修)
2月8日	火	岐阜県生協連来協(研修)
2月9日	水	福祉センター臨時理事会
2月11日	金	NPOとちぎ消費生活サポートネット法令研修会
2月12日	土	農学会シンポジウム
2月16日	水	県食育推進連絡会
2月17日	木	県食肉公正協総会、宇都宮市食品安全講演会、労福協講演会、県連理事会、足尾生協高橋前顧問に感謝する会
2月18日	金	中央地連2020年ビジョン討論会
2月21日	月	宇都宮市消費生活協議会
2月23日	水	地連県連責任者会議
2月24日	木	栃木労生協理事会
2月25日	金	地方消費者グループフォーラム
2月26日	土	NPOセニア・サービスセンター主催いのちのセミナー
2月28日	月	宇都宮市食品安全懇話会

(2) 2月会員活動の特徴

2月5日の県内職域6団体(5会員生協を含む)の連帯による住宅相談会が開催され、予定を上回る参加があった。

(3) 県連理事会、「足尾銅山生協三養会高橋前顧問に感謝する会」

2月17日県連定例理事会が開催され、2011年度の基調、損益ガイドライン、第42回通常総会に向けた代議員定数が確認された。活動計画に関しては、引き続き会員の意見を集約することとし、2011年度会費案については会員に持ち帰り、5月理事会で確認することとした。

理事会終了後に「足尾銅山生協三養会高橋前顧問に感謝する会」を開催した。今年の1月に足尾銅山生協三養会の顧問を退任された。生協歴は60年、県連の役員として22年ご活躍いただいた。県内生協の歴史を刻まれてきた高橋前顧問に、参加者から感謝の言葉が贈られた。



(2月17日高橋さんを囲む栃木県連理事会メンバー)

(4) 部会・委員会活動

2月8日石油部会として、レギュラー1L133円への価格改定が行われた。

2月7日くらし部会拡大学習会として、TPP問題について学習を行った。講師を宇都宮共和大学の和田佐英子准教授にお願いし、TPP問題の理解を深める上で客観的な立場から、参加した場合の影響、しなかった場合の影響、交渉の問題など詳しくデータを基に講演をいただいた。3会員約50名の参加があり、参加者の方々からTPP問題を考える上で適切な話しを伺えたという声が多くあった。

(5) 食の安全の取り組み

2月17日宇都宮市主催の食品安全講演会が開催され、講師として消費者庁・消費者委員の日和佐信子氏と食品ジャーナリストの河岸宏和氏が講師として講演された。日和佐講師は、「私から見た食の安全と安心」というテーマで講演され、食品安全行政の経緯、リスク分析、安全性の科学的判断、消費者行政や食の安全に関わる幾つかのテーマについて話がされた。様々な情報に流されないで、科学的に判断していくことの大切さが話された。例年より参加者も多かった。

2月28日にも宇都宮市主催の「食品安全懇話会」が開催され、竹内会長が参加された。平成23年度の「食品衛生監視指導計画案」、食品トレーサビリティ推進のためのガイドライン作成について、提案があり意見交換された。

とちぎ食の安全ネットワークとしては、「栃木県食品衛生監視指導計画案」に対してパブコメを提出した。

(6) 消費者課題の取り組み

2月21日宇都宮市の消費生活条例に基づく「消費生活協議会」が開催された。今年にはカード会社と消費者委員との協議の場として持たれた。とちぎ消費者ネットワークとして初めて参加の要請があり、代表の宇都宮大学杉原教授に参加いただいた。

2月25日消費者庁と全国消団連の共催で、全国各地地方単位で「消費者フォーラム」が開催されている。関東甲信越をエリアに「地方消費者フォーラム」が四谷の主婦会館で開催された。栃木県から3組織から9名の参加があった。各地の取り組み報告の一つとしてNPOとちぎ消費生活サポートネットの相談活動の報告がされ、寸劇として栃木県消費者リーダー連絡会佐野支部の実演もあり好評だった。全体で約140名の参加があった。

(7) 渉外及び他団体・行政との連携

1日県のGAP推進委員会が開催され、GAP推進方針とGAP規範が確認された。

2日には、県内の田園風景百選が選定され、「記念シンポジウム」が開催された。

7日には、県のボランティアセンターぽ・ぽ・ら主催の「協働フォーラム」があり、竹内会長がコーディネーターとして参加された。

また、同日、県「土づくりコンテスト表彰式」も行われた。

7～8日にかけて岐阜県生協連の拡大理事研修が、栃木県連の消費者ネットワークとふれあいコープの見学を中心に行われた。7生協1県連、川崎会長をはじめ13名の方が来られて率直な交流の場を持つことができた。

(8) 3～5月の課題

1. 3～5月部会・委員会活動の推進
2. 3～5月のネットワーク活動（食の安全ネット全体会、消費者ネット全体会）の推進
3. 第42回通常総会議案書案の作成
4. 第42回通常総会に向けた諸準備
5. TPP署名について可能な協力